

北高

有隣会会報

愛知県立一宮北高等学校 同窓会

会長挨拶

会長 谷川 元康



同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は平成25年夏より有隣会第四代会長を務めさせていただいている一回生の谷川元康と申します。

平素は有隣会活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

いきなりで恐縮ですが、ここで皆様にお断りを申し上げます。この度、有隣会ではおよそ20年ぶりに卒業生名簿(会員名簿)の発行を決定いたしました。昨今、個人情報保護法の施行に伴い、名簿発行には慎重にならざるを得ません。しかし、いざクラス会や同期会を開催しようにも、名簿がなければ連絡を取ることさえ困難です。

実は私は一昨年に一回生の同期会の開催を思い立ち、付き合ひのある同級生数人に声をかけたのです。皆、賛同してくれました。しかし先述の通り名簿は20年前に作られたものが最後。そこで同級生15名で実行委員会をつくり、手分けして連絡先を調べたのですが、これに相当な手間と時間がかかりました。

名簿が完備されていればもっと簡単に同期会やクラス会は行えます。

そこで発行に際し、有隣会役員で

協議を重ねた結果、プライバシーマーク取得のデータ整備専門会社(株)サト様にてデータ管理、名簿作成を依頼いたしました。この会報に同封されています「名簿発行のお知らせ」をご覧ください。より正確な名簿作成のため、確認ハガキのご返信にご協力をお願い申し上げます。

さて、母校一宮北高校は昨年創立40周年を迎えました。昭和50年に開校して40年。過ぎ去る日々の早さを感じることも、自分が入学した頃を思い出し、実に感慨深いものがあります。

この春、38回目の卒業式を終え、同窓生は1万2600名を数えるまでになりました。このすべての人が、時代こそ違いますが、同じ学び舎で、三年間学んだことになりました。人生の中ではほんの一瞬ですが、青春真っただ中の貴重な時間を一宮北高で過ごした「同士」がこんなにも数多くいることに喜びを感じます。仕事等の出会いの中、偶然にも同じ一宮北高出身と分かったとき、特別な親しみを感じるのではないのでしょうか。また新聞などで「一宮北高」の文字を見つけると思わず見入ってしまいます。

私は今後も微力ながら有隣会会長として、精一杯努めさせていただきます。どうかよろしくお断り申し上げます。

名誉会長挨拶

校長 矢永 昭一

北高を卒業して

卒業生の声



創立四十
年の歴史を
刻んできた
一宮北高等
学校の同窓
会「有隣会」

の皆様には各方面で活躍のこと

とお慶び申し上げます。節目の昨年
は有隣会の会長様はじめ役員の皆
様に実行委員会の委員長及び委員
として記念事業の企画・運営にご協
力を頂きました。皆様が多大な支
援ご協力に心からお礼を申し上げ
ます。

さて、一宮北高校は長い歴史を経
て、ここ数年で大きく変化していま
す。平成二十二年度から普通科の中
に「福祉実践コース」を開設し、将来
福祉をはじめとする様々な分野で
活躍が期待される人材の育成を目
指しています。福祉科との違いは上
級学校への進学を目指した進学対
応コースとなっていることです。こ
こで学ぶ生徒は将来の職業意識も
高く、各種講演や施設見学、実習等
に熱心に取組み、自身の目指す大学
や短大等に進学しています。

学習環境については、教室棟から
始まった耐震工事が昨年の武道場
の改修で終了しました。また、教室
には空調が整備され、快適な環境で
学習活動が展開されるようになって
きました。

部活動においても陸上部はイン

ターハイに出場する強豪校に成長
し、サッカー部は県内で全国大会を
目指す上位校が集まる「二部リー
グ」というカテゴリーで熱戦を繰り
広げています。他の運動部も県大会
出場など、校内は毎日生徒達の元気
な姿で賑わいを見せています。

文化部では和太鼓部が地域の催
しに引っぱりだこです。吹奏楽部も
各種大会、演奏会以外に卒業式や入
学式などの式典で演奏するなど、着
実に力を着けてきました。これら生
徒の活躍を頼もしく思うと同時に、
北斗祭などで培われた「たまきはる
心」を伝統の糧として職員、生徒と
もども末永く引き継いでいきたい
と思っています。

有隣会は現在一万二千名を超え
る会員を擁し、日本国内はもとより
海外においても各界でご活躍され
ています。先輩の歩みに続くこととす
る平成生まれの現役生七百余名に
心強い指針を与えていることを何
よりの応援と深く感謝いたします
とともに、有隣会の一層のご発展と
会員の皆様のご健康とご多幸をお
祈りいたします。



横山 将志 (平成14年卒)



僕が15歳
のとき、志
望した高校
は：一宮西
高校でした
(笑)

受験間近、最後の最後で西高の倍
率が1.2倍まで下がり、余裕で受かる
と思ってまったく勉強せず臨んだ
受験：そりゃあ落ちますよね(笑)
そして、母校となる北高へ入学が
決まったのです。結果的には北高で
よかつたなあとしみじみ思ってい
ます。とても楽しかったですし、最
高の仲間とも出会えました。

そして今31歳になり、私は一宮市
の昭和というところで接骨院を開
かせていただき、少しでも地域に貢
献できたらという思いでやらせて
いただいています。実家で父が接骨
院をやっていたこともありこの道
に進んだのですが、20歳の時に父が
他界し正直この先どうしようかと
迷ったこともありましたが、ですが、
大きく回り道をしながらかつとこ
こまでこれました。

僕がこの世で一番尊敬するのは
父と母ですが、母には今までできな
かった親孝行を、そして天国で見
守っていてくれる父に認めてもら
う為、しっかりとそして楽しく人生
を歩んでいけたらなと思います。

野垣 大悟 (平成8年卒)

北高での三年間を振り返ってみ
ると「目一杯青春を楽しんだ」と思
います。三年連続で室長を務め、ヘ
ルスアップデーの群団長も経験し
ました。また野球部で毎日白球を
追っていました。すべてが大切な思
い出となっています。

大学卒業後、私は東京でフランス
料理の修行をしたのち一宮に戻り、
26才で本町の石窯ピザのハワーズ
エンドで店長となりました。現在も
ピザを焼き、お客様に笑顔で応える
温かい接客に務める毎日です。

私には二つの信条があります。ま
ずは「何か一つは誰にも負けないも
のを持つ」こと。私の場合、それはピ
ザ。思いを込めたピザを今も真剣勝
負で焼いています。

もう一つは「得なことよりも正しい
ことを選択する」ことです。目先の
利益のために、お客様を少しでも欺
くようなことは決して考えません。
おかげ様で、北高の同級生や先輩
方にはよく店を利用していただき
感謝の気持ちで一杯です。

これからは若い人の活躍の場を
与えるため
にも事業の
拡大をして
いきたいと
思っていま
す。



春日井 麻希 (平成14年卒)

「保健室の先生になれたらいいな
」北高生の頃に思い描いた夢が実
現し、現在、養護教諭(保健室の先
生)として勤務しています。

仕事は、応急処置や保健指導、心
のケア、環境整備、健康診断など多
岐に渡ります。生徒が大怪我をした
ときは、励ましながら医療機関へ付
き添ったり、心に大きなストレスを
抱えて来室する生徒には、たとえ事
務的な作業が山積みであっても、耳
を傾けて話を聴くこともあります。
どんなときでも生徒の「かけがえの
ない命」を守ることを最優先に考
え、執務に取り組んでいます。

そんな日々には気持ちに余裕が持
てず、笑顔が消えてしまう日もあり
ますが、職場の方々の温かい言葉や
「先生ありがとう」「先生のいる保健
室でよかった」という生徒たちから
の嬉しい言葉や手紙、また、家族や
友人、多くの人に支えられ励まされ
て、苦しいときも乗り越えてこれま
した。

これから先も色々なことが待ち
受けていると思いますが、北高の
卒業生として誇りを持って、後輩
たちの成長を保健室から見守りな
がら「前向きな気持ち」「笑顔」「周
りの人への感謝の気持ち」を忘れ
ず、がんばりたいと思います。

恩師は今…

安江 克文 (保健体育)



一宮北高
校も昨年創
立四十周年
を迎え益々
発展の様子、
大変嬉しく

思っています。

北高には十六年間お世話になりました。校内外の桜の素晴らしさ、緑一杯の芝生のグラウンド・ヘルスアップデー・北斗祭・勤労体験学習等色々と印象に残っています。特にヘルスアップデー当日の応援合戦は、各団の演技を、他団が一斉に不動の姿勢で見守る姿に感動しました。さらには勤労体験でのサーキットトレーニング場作りです。生徒自身が穴を掘り、タイヤや鉄骨を埋め、丸太を切り時間をかけて完成させました。この施設がその後の授業や部活のトレーニングに広く活用され大いに成果が上がった事が共に携わった者として忘れられません。

私はサッカー部の顧問でしたが、緑のグラウンドで練習出来る学校は他に無く、芝生の感触を楽しみながらの練習でした。時には一宮タワーから川島まで、春には桜、冬は雪景色の中の七キロコースランニングは私にとっても楽しみでした。定年後も体力維持に光明寺公園付近を走っています。各地のマラソン大会

にも参加しますが、一宮シティマラソンには一昨年北高OB十数名も加わり一段と気合いが入ります。

思い起こせば教員の後半を充実した環境の下、多くの卒業生の皆様と過ごさせていただいた事に感謝しています。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご発展をお祈りいたします。

小島 隆 (地歴公民)



現在、再任用あるいは非常勤講師として一宮西と一宮興道の教壇に

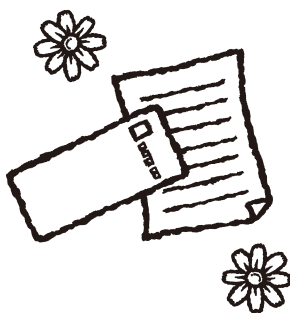
たっている私は、二十一年間一宮北高の桜を楽しむことができた幸せ者、という経歴を持っている。

昨年興道高校の教室でのこと、授業を始めようとした時、「母からです」とAくんが封筒を差し出してきました。中の手紙を読んで理解した。彼の母親は私が北高で最初に担任をしたクラスの生徒であり、彼女は他でもないこの私が彼女の息子を教えているということに偶然気付いて、手紙をくれたのだ。一瞬にして私は八回生三年二組を思い出した。自分の考えを持ち、また思いやりのある明るい生徒達。グラウンドに机

を並べて青空教室風に卒業アルバムのクラス写真を撮った。三者面談では進路を巡って親子喧嘩が始まった。そんな親子が三組もあった。彼、彼女らはあの時も一生懸命だった。そして卒業の日にはクラスの男連中が自分を何度も胸上げしてくれたな、と。

眼前の生徒達と重なって見える彼らも、もうすぐ五十歳なのか、と感慨に耽りながら、彼らの若かった感性と行動力がとても懐かしく思われる。

おっそうだ、授業を始める時間だった。授業が終わったら手紙に返事を書く。



有隣会からのお知らせ

●同窓会名簿発行について

同封の「平成28年度版名簿発行のお知らせ」をご覧ください、確認ハガキのご返信にご協力お願いします。名簿作成経費のために名簿作成賛助金、広告掲載へのご協力も重ねてお願いいたします。

尚、名簿の掲載内容は氏名以外で掲載を希望されない項目がある場合は、確認はがきの該当欄に「不掲載」とご記入下さい。名簿作成、データ管理はすべて(株)サト様に依頼しています。名簿作成上、同社様より連絡がある場合もありますのでご了承下さい。

●平成27年度総会

本年度の総会は8月30日(日)午前11時より一宮北高校2階会議室にて行います。

●有隣会ホームページ

<http://home.owari.ne.jp/~yuurinkai/>

一宮北高 有隣会

検索

北高今昔

40周年を迎えた一宮北高校。開校当時と比べると大きく様変わりしています。ここにその一部をご紹介します。



北館の西側壁に燦然と輝く校章と学校名



災害時の安全確保のための耐震工事は昨年8月に完了



夏季の学習環境の改善のため平成23年に全教室にエアコン設置



正面玄関の屋根には高く、鋭く、行く手示す北斗七星が

北高だより

40周年記念事業

創立40周年記念事業は昨年10月23日、体育館での記念式典及び記念講演、一宮市民会館で芸術鑑賞会の二部制で行われました。



式典には愛知県教育委員会をはじめ多くのご来賓のご臨席をいただき、厳粛な雰囲気の中、執り行なわれました。

引き続き「夢を実現する魔法のこ」と題して、日本ベップトーク普及協会会長の岩崎由純氏による記念講演を拝聴しました。力強く、そしてユーモアあふれる講演に皆、感動です。

午後は東京ハルモニア室内オーケストラの皆さんによる弦楽八重奏で、生の音楽に酔いしれました。

また40周年記念誌「北高40年のチカラ」は従来の形式的な内容ではなく、北高生のイキイキとした姿が伝わっていると、来賓の方々から好評をいただきました。



部活動の記録(平成26年度)

【陸上競技】

愛知県高等学校総合体育大会
尾張支部大会

男子総合 優勝
フィードルの部 優勝
女子総合 5位
フィードルの部 優勝
愛知県大会
円盤投 3位 岩田知大
4位 秋元翔太
ハンマー投 3位 岩田知大

東海大会へ二種目2名出場
愛知選手権大会
円盤投 7位 岩田知大
全国高等学校選抜大会
ハンマー投出場 足立貴子
鈴木裕可里

愛知県高等学校新人体育大会
尾張支部大会
男子総合 3位
フィードルの部 優勝
女子総合 5位
愛知県大会
男子フィードルの部 2位
三段跳 3位 今井立登
円盤投 優勝 岩田知大
5位 青井怜央
ハンマー投 2位 岩田知大
4位 岩田有貴
3位 鈴木裕可里
6位 山本拓海

東海大会
やり投 6位 山本拓海
円盤投 3位 岩田知大
ハンマー投 3位 鈴木裕可里
三段跳 8位 今井立登
日本ユース選手権大会
ハンマー投 7位 岩田知大
いちのみやタワーパークマラソン
高校男子5km 5位 川島颯太
女子5km 5位 加藤晶
第62回尾張駅伝大会
高校男子の部 2位

【弓道】
尾張支部高等学校選手権大会 4位 森 圭佑
一宮市民大会 3位 川浦大知
前期 高校男子団体の部 準優勝
後期 高校男子団体の部 優勝
準優勝 川浦大知
武田健太郎
【サッカー】
愛知県高等学校総合体育大会 ベスト16
愛知県大会 ベスト16
愛知県高等学校選手権大会
愛知県大会 ベスト16
尾張支部選手権大会 準優勝
高円宮杯U18リーグ愛知2部 7位

【野球】
第118回全尾張高等学校選手権大会 本大会出場
【ソフトテニス】
尾張高等学校北ブロック大会 準優勝 岩田勇輝
川島琢巳
3位 芝田七海
山崎隼佑
【吹奏楽】
愛知県アンサンブルコンテスト 金賞
西尾張地区大会 銅賞
愛知県大会



進路状況について

○主な進学先(過去3年)

【国立大学】

岐阜大学、三重大学、静岡大学、富山大学、山梨大学、愛知県立大学、福井県立大学、秋田県立大学など

【私立大学】

南山大学、愛知大学、名城大学、中京大学、中部大学、愛知工業大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、相山女学院大学、金城学院大学、名古屋外国語大学、名古屋学院大学、日本福祉大学、東海学園大学、岐阜聖徳学園大学、立命館大学、国士館大学、大同大学、至学館大学、修文大学、明治大学、法政大学など

【私立短期大学】

南山短期大学、名古屋短期大学、名古屋女子短期大学、愛知きわみ短期大学、名古屋学芸短期大学、名古屋柳城短期大学、至学館短期大学、部、岐阜聖徳学園短期大学、愛知江南短期大学、修文短期大学、愛知医療学院短期大学、岐阜保健短期大学など

卒業生の進路状況(平成26年度)

大学進学者	117名
短期大学進学者	31名
各種・専修学校進学者	67名
就職者	12名
その他(含・浪人)	6名

めざせ平昌冬季オリンピック!! 平井亜実選手

現在北高3年の平井亜実さんはショートトラックスピードスケートで平昌冬季オリンピック(2018年)出場を目指し、ナショナルチームのメンバーとしてワールドカップをはじめとする国際大会で頑張っています。2014~15年には国体少年女子500m優勝、ワールドカップ第5・6戦に日本代表として出場しました。オリンピック出場となれば北高の歴史の中で初めての快挙!皆さんの暖かい応援をお願いします!!

